

各特別会計

国民健康保険特別会計 歳入は国民健康保険税、県支出金、一般会計繰入金の減、歳出では、保険給付費、国民健康保険事業費納付金等の減により、総体では前年度比21.2%の減

後期高齢者医療特別会計 歳入では後期高齢者医療保険料が187万2千円の増、一般会計繰入金6千円の増。歳出では総務費2万円の増、後期高齢者医療広域連合納付金185万4千円の増となっており、総体では前年度比3.6%の増。

介護保険特別会計 歳入では、国庫支出金、支払基金交付金、県支出金、一般会計繰入金の減、歳出では総務費、保険給付費、地域支援事業費の減により、総体では前年度比2.7%の減。

介護サービス特別会計 介護保険認定者が利用するデイサービス事業の経費として、主に総務費、サービス事業費について計上している。サービス事業費の増により、前年度比0.3%の増。

公営企業会計

簡易水道事業会計 収益的収入については、水道料金が33万円の減、一般会計補助金は530万9千円の増、長期前受金戻入1万7千円の増。収益的支出については、滅菌装置の点検委託等により増額。資本的収入は、簡易水道事業債の増等により5,746万7千円の増、資

本的支出は企業債償還金の増や、米田地区の配水管新設工事にかかる費用等の増により6,292万5千円の増。

下水道事業会計 収益的収入は1,409万3千円減の2億1,853万円、収益的支出は1,339万5千円減の2億1,912万4千円で差引収支額は△59万4千円。

資本的収入は9,733万9千円増の2億5,936万4千円、資本的支出は9,940万1千円増の2億6,204万6千円で、差引収支額は268万2千円の減。不足額については損益勘定留保資金等で補填。

国民健康保険特別会計

(単位:千円)

歳入		371,598
内	県支出金	235,942
内	国民健康保険税	58,883
内	その他	76,773
歳出		371,568
内	保険給付費	231,596
内	国保事業費納付金	75,630
内	その他	64,342

後期高齢者医療特別会計

(単位:千円)

歳入		53,641
内	後期高齢者医療保険料	34,916
内	繰入金	18,610
内	その他	115
歳出		53,641
内	広域連合納付金	53,328
内	その他	313

介護保険特別会計

(単位:千円)

歳入		645,740
内	国庫支出金	167,830
内	支払基金交付金	163,700
内	保険料	114,893
内	その他	199,317
歳出		645,740
内	保険給付費	589,356
内	地域支援事業費	37,757
内	その他	18,627

介護サービス特別会計

(単位:千円)

歳入		55,989
内	サービス収入	55,288
内	その他	701
歳出		55,989
内	サービス事業費	38,700
内	総務費	16,960
内	予備費	329

簡易水道事業会計

(単位:千円)

収入		189,402
内	水道事業収益	84,455
内	資本的収入	104,947
支出		188,629
内	水道事業費用	78,204
内	資本的支出	110,425

下水道事業会計

(単位:千円)

収入		477,894
内	下水道事業収益	218,530
内	資本的収入	259,364
支出		481,170
内	下水道事業費用	219,124
内	資本的支出	262,046

当初予算1人当たりの金額【一般会計】

町民1人当たりに使われるお金 ※ () 内は前年度金額

総額	1,369,701円	(1,316,786)	商工費	96,216円	(91,498)
議会費	22,865円	(22,118)	土木費	129,579円	(110,654)
総務費	187,599円	(157,054)	消防費	67,323円	(57,443)
民生費	229,861円	(213,970)	教育費	131,086円	(141,324)
衛生費	194,107円	(151,995)	災害復旧費	1,981円	(44,975)
労働費	6円	(6)	公債費	123,385円	(120,173)
農林水産業費	184,587円	(204,504)	その他	1,107円	(1,072)

【令和7年3月末日人口：2,713人】